



謹んで新春の

お慶びを申し上げます

特定非営利活動法人 通院介護センター「さわやか」

理事長 山田 浩美



皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年とは6年後となった東京オリンピック招致の成功に沸いた年でもありました。

それによって現政権が打ち出している「アベノミクス」との相乗効果に伴い、景気の回復ができるのではないかと淡い期待をもっていました。また、その効果も福祉の現場は素通りされているようです。

ご承知の通り福祉を取り巻く環境はますます厳しさを増しております。また、国内だけを見ても、景気、年金、雇用、教育、食の問題等が山積しております。

3年前の東日本大震災の復興や、福島の問題などもまだまだ時間がかかると思われます。

少しでもこのような問題が好転することを期待するばかりです。今年の干支は「午」ですが、証券業界では、「午下がり」という言葉があるそうです。4月からの消費税増税などが響くのではないかと言われておりますが、「駆け上がる」「駆け抜ける」などと景気よくなるような年になるように願っております。

「さわやか」も今年一九年目を迎えます。皆様のご理解とご協力の下、事業を継続することができております。何とか皆様に「倍返し」できるよ

うになれば・・・などと思っております。今後とも事務局一同前を向いて、一歩ずつ前進していく所存でございます。

皆様のご指導ご鞭撻をいただきますようお願いいたします。

今年も皆様にとりまして更に良き一年となりますようお祈りいたします。



新年のご挨拶

常務理事 梶原 待子

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては幸

多き新春をお迎えのことと思

私事「さわやか」に従事して十数年、昨年を振り返ってみますと、反省することばかりです。

しかも、高齢者と呼ばれる事にショックを受け、実際に身体のあちこちに不調が出て、身体がついて行かないのが現状でした。

これまで順調に推移してきました「さわやか」はこの先大事な時期に向かいます。

これから出てくるいろいろな課題に対して「さわやか」レディース一丸となって乗り越えて行かねばならないと思

あります。老体の私ではありますが、泣き言を言っているひまはないようです。微力ではありますが理事長を支えながら頑張るつもりです。

今年も、皆様のご理解、ご協力、ご鞭撻をよろしくお祈りいたします。

事務局長 高原 由美

関係各位の皆様、ボランティアの皆様、良き新春をお迎えの事と思

また、新しい年がやってきました。昨年の漢字は「輪」でした。そして今年

「さわやか」も皆様との『わ』を大事にしながら、山田理事長を全力でサポートしていきたいと思

今年も、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお祈り致します。

事務局 貞谷 希望

昨年九月に法人

一〇周年と「さわやか」新聞二〇〇号を発行する事が出来ました。

今まで支えて下さった関係各位、ボランティアの方々のお陰だと思

また、「さわやか」主催の北部九州三県合同研修交流会や九州初の移送サービス特別セミナーなど充実した研修会を行う事も出来ました。

今年も皆様方にご協力いただきながら、私自身ももっと成長出来るように頑張りたいと思

